

Ⅶ 誇らしい「都」をつくる

～交流、定住の促進により、南部地域・東部地域を、頻繁に訪れてもらえる、住み続けられる地域にする～

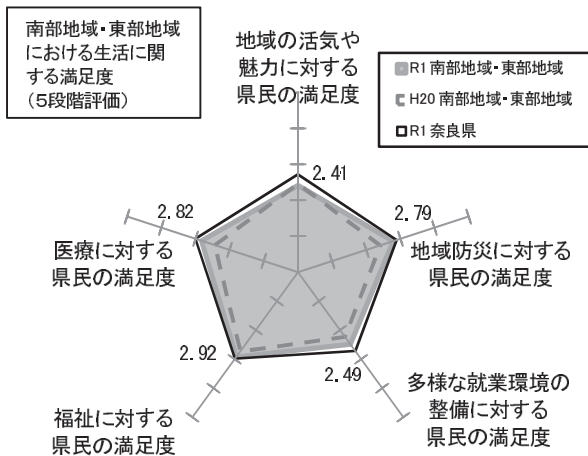
<テーマ一覧>

坊	番号	テーマ名	ページ
現状分析			P.155
25. 南部 の振 興・ 東部	(136)	南部・東部の振興	P.156

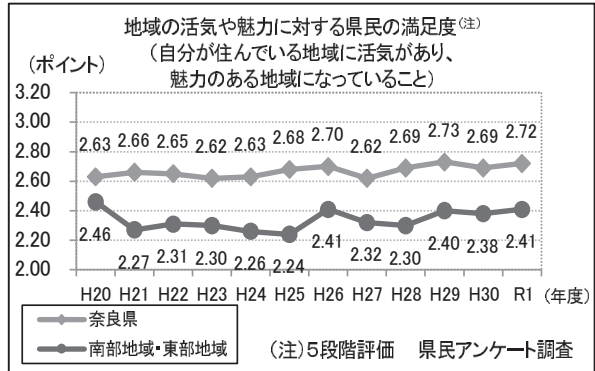
25. 南部・東部の振興

【担当部局】
南部東部振興監

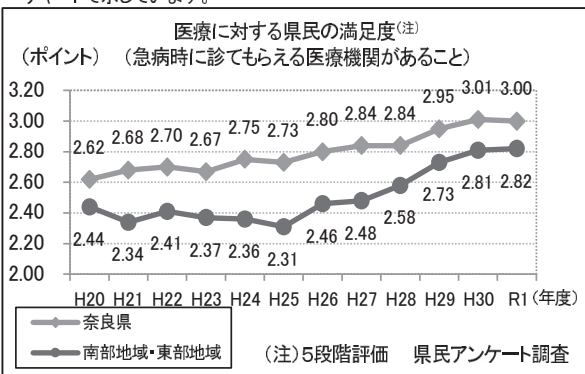
1. 現状分析



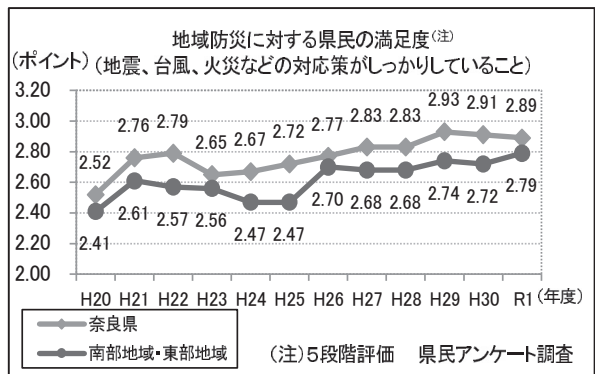
(注)「南部地域・東部地域の振興」については、全国と比較できる指標がないため、県民アンケート調査における県民の満足度をレーダーチャートで示しています。



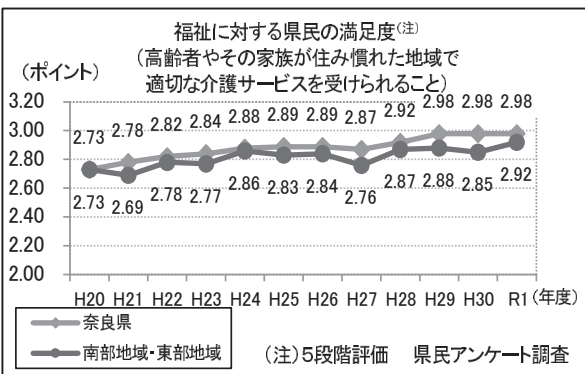
南部地域・東部地域の活気や魅力に対する県民の満足度は、近年横ばい傾向となっています。



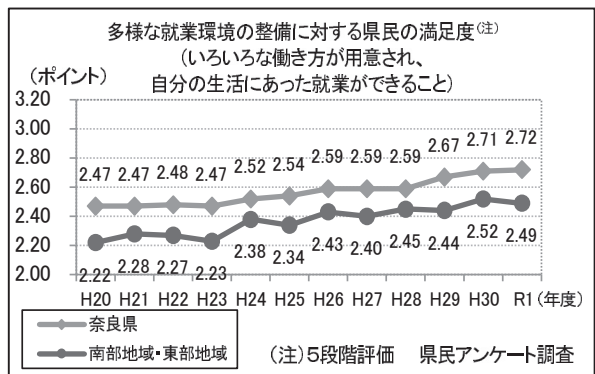
地域医療提供体制の整備が進みつつあること等により、南部地域・東部地域の医療に対する県民の満足度は平成26年度以降上昇しています。



災害に強いインフラづくりの推進等により、南部地域・東部地域の地域防災に対する県民の満足度は平成26年度以降ほぼ横ばいでしたが、令和元年度は2.79と過去最高ポイントとなりました。



南部地域・東部地域の福祉に対する県民の満足度は平成28年度以降ほぼ横ばいでしたが、令和元年度は2.92と過去最高ポイントとなりました。

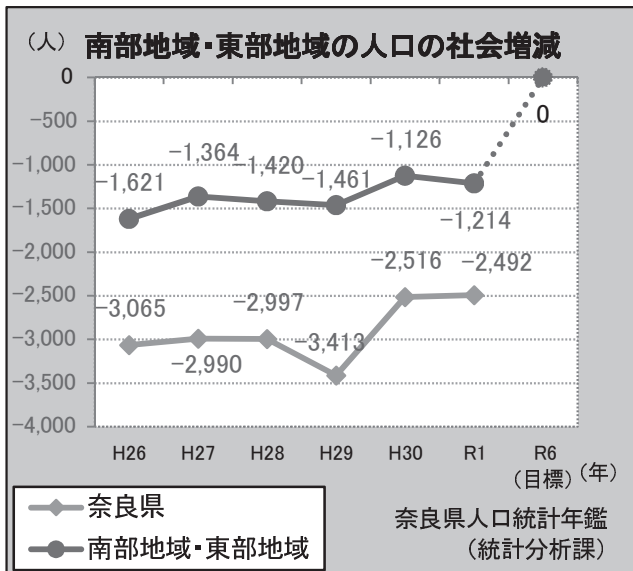


雇用の掘り起こしとマッチング支援や女性・高齢者の就業支援等により、南部地域・東部地域の多様な就業環境の整備に対する県民の満足度は上昇傾向にありますが、伸び悩んでいます。

2. 各テーマの「目指す姿」達成に向けた進捗状況

坊	25. 南部・東部の振興
テーマ	(136) 南部・東部の振興
目指す姿	令和6年までに南部地域・東部地域の人口の社会増減を均衡させます。

CC(チーフコーディネーター)
(136) 南部東部振興監 前阪 祥弘



指標	南部地域・東部地域の人口の社会増減(人)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
進捗状況	▲ 1,621	↗	▲ 1,214	25.1%	0
	H26 (2014)	407 人	R1 (2019)	5/10 年目	R6 (2024)
令和元年は、奥大和移住・定住連携協議会による移住相談ワンストップ窓口担当者研修会の実施や移住促進施設整備事業による市町村への支援等、二地域居住・移住を受け入れる仕組みづくりと拠点整備や移住者の働く場の確保に取り組んだことにより、南部地域・東部地域の人口の社会増減は1,214人の減となり、基準値である平成26年の1,621人減から407人改善しました。また、進捗率は25.1%となっています。					

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
南部地域・東部地域の観光入込客数(万人)	地域の特色を活かしたスポーツ、芸術等イベントの開催や鉄道会社等と連携したプロモーションに取り組み、実績値は基準値より95万人増加しました。また、進捗率は57.9%となっています。	666	↗	761	57.9%	830
県外からの南部地域・東部地域への転入者数(人)	二地域居住・移住を受け入れる仕組みづくりや移住者の働く場の確保等に取り組む、実績値は基準値より391人増加しました。また、進捗率は54.8%となっています。	1,787	↗	2,178	54.8%	2,500
		H25 (2013)	95 万人	H30 (2018)	5/7 年目	R2 (2020)
		H26 (2014)	391 人	R1 (2019)	5/10 年目	R6 (2024)

主な取組指標の動き

頻繁に南部地域・東部地域を訪れてもらうための仕掛けづくり		
スポーツ・芸術イベント参加者数(南部地域・東部地域)(人)		
1,560	↗	4,610
H25 (2013)	3.0 倍	R1 (2019)

南部地域・東部地域の魅力を多くの人に知ってもらうための情報発信		
移住サイト「奈良に暮らす」アクセス件数(件)		
492,453	↗	510,844
H26 (2014)	3.7 %	R1 (2019)

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

「住み続けられる地域づくり」を実現させるため、新たな雇用を生み続ける仕組みづくりの施策の一環として、令和元年度は起業家やフリーランスを呼び込む拠点づくりの実験・検討を行いました。

3. 次年度に向けた課題の明確化

25. 南部・東部の振興

(136) 南部・東部の振興

<奈良県の持っている強み>

- 1 豊かな自然環境、おいしい空気や水
- 2 豊かな森林資源、吉野材ブランド
- 3 地域の住民の絆が強い
- 4 世界遺産をはじめとする豊富な歴史・観光資源（「紀伊山地の霊場と参詣道」平成16年7月登録、「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」平成19年1月暫定リスト登録）
- 5 情報通信基盤の充実
- 6 南部・東部の魅力浸透等による観光入込客数の回復

<奈良県の抱えている弱み>

- 7 産業用地の不足
- 8 人口減少と高齢化による活力低下
- 9 若者の就業の場の不足
- 10 農林業等地域産業の衰退
- 11 医師の確保が困難
- 12 路線バスの休廃止・減便の進行
- 13 日常生活サービスの脆弱化

<奈良県への追い風>

- a 景気回復に向けた国の経済対策等
- b 国による国土強靱化の推進
- c 「住みたい」「住み続けたい」意識の高さ
- d 多様なライフスタイル指向の高まり（ニーズが高いもの）
 - ・医療・介護等高齢者福祉への支援
 - ・若者の雇用の場の創出
 - ・林業等地域産業の振興
 - ・バス交通等生活維持のための対策
- e 国による地方創生の動き
- f 国道168号十津川道路の完成供用（令和元年9月）

<奈良県への向かい風>

- g 人口減少、労働人口の減少
- h 企業の生産拠点の海外移転
- i 食品や木材の輸入品の増加

<<強みで追い風を活かす課題>>

[重要課題]観光交流の促進(地域の魅力の発信)(1,4,5,6,a,c,e)

<<弱みを踏まえ追い風を活かす課題>>

[重要課題]移住の推進(8,9,c)
 ・医療・高齢者支援の充実(11,12,c,d)
 ・紀伊半島アンカールートの早期整備(7,b,c,f)
 ・公共交通の確保(12,c,d)
[重要課題]住民が安心して暮らせる基盤整備(13,c,d)

<<強みで向かい風を克服する課題>>

[重要課題]地域資源の活用(地域の魅力の発見、創造)(1,2,3,4,g,i)

<<弱みを踏まえ向かい風に備える課題>>

[重要課題]企業立地の促進(7,g,h)
 農林業等地域産業の振興(10,g,i)

4. これまでの評価や取組を踏まえた、強みや追い風を活かす課題の今後の取組方針

強みで追い風を活かす課題	今後の取組方針
観光交流の促進(地域の魅力の発信)(テーマ(136))	観光入込客数を増加させるため、旅行雑誌や旅行サイト等の多様な広報媒体を活用し首都圏や関西圏等に向けた、奥大和の情報発信を積極的に行います。また、地域資源を活かしたスポーツや各種イベントを開催するとともに、「うだ・アニマルパーク」を拠点とした取組を推進します。

弱みを踏まえ追い風を活かす課題	今後の取組方針
移住の推進(テーマ(136))	「住み続けられる地域づくり」を実現させるため、新たな雇用を生み続ける仕組みづくりの施策の一環として、起業家やフリーランスを呼び込む拠点づくりの実験・検討を引き続き行います。また、地域の特産物、自然環境等豊かな資源を活かしたビジネスの創造等地域の新たな仕事づくりを促進するとともに、市町村での取組(広報、イベント、ワンストップ窓口、空き家バンク)を支援します。
住民が安心して暮らせる基盤整備(テーマ(136))	道路防災対策及び土砂災害対策を推進を通じ、市町村の住民避難対策の支援等、災害時の安心・安全を確保します。また、県内外からの支援を受け入れて、迅速に対応できる広域防災拠点の整備に向けた取組を推進します。

強みで向かい風を克服する課題	今後の取組方針
地域資源の活用(地域の魅力の発信、創造)(テーマ(136))	「食」と「泊」を売り出すオーベルジュ等のネットワーク化を推進します。また、奈良県植栽計画に基づき、南部地域・東部地域の自然環境や森林資源等を活かした植栽景観を整備するとともに、南部地域・東部地域の自然環境等を活かしたスポーツイベントや特色を活かしたイベントの開催を支援します。

5. これまでの評価や取組を踏まえた、弱みと向かい風を抱える課題の今後の取組方針

弱みを踏まえ向かい風に備える課題	今後の取組方針
企業立地の促進(テーマ(136))	京奈和自動車道御所IC周辺に新たな産業用地を造成するほか、五條北IC周辺で分譲中の工業団地、また郡山下ツ道ジャンクション供用開始により利便性がさらに高まってきた名阪国道周辺等、南部地域・東部地域への企業立地を促進します。